

第53回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2014年10月13日(月) 9:20-13:50 私立海城高校

2 参加者

矢島ミ、畠山、瀧上、宮嶋、南島、川村、上村、小尾、小林、武井(オブザーバー)

3 新規オブザーバーの紹介

武井伸光氏(連合会員・群馬県立伊勢崎高校)がオブザーバーとして承認された。

4 前回議事録の確認

原案通りに承認された

5 中教審・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審関連

・高校教育部会「審議のまとめ」が6月末に公表されたが、それに関する資料の確認を行った。

○理数系学会・他研究団体等

- ・8月に行われた理科教育学会での前文科省教科調査官・田代氏の講演について紹介があった。
- ・8月に行われた天文教育普及研究会での高校理科についてのシンポジウムについて、新しい提案は特になかったことが報告された。
- ・地学教育に関する研究集会(9/27生存圏シンポジウム)について報告がなされ、来年度は高校地学に関する具体的な内容を検討するという案が出されたことが紹介された。
- ・理数系学会シンポジウム(10/26)の具体的なプログラム、JpGUの活動紹介についての資料が提案された。
- ・サイエンスアゴラ(11/9)、「防災読本」研究集会(11/29,30)の開催について案内があった。

○教育検討委員会関連の報告事項

・地学教育小委員会の改廃について、検討を始めることが了承された。

○その他

- ・学術会議小委員会(科学と社会委員会・科学力増進分科会 高校理科教育検討小委員会)での議論の経過について報告があった。
- ・第8回国際地学オリンピックについて、結果(金3、銅1)と出題傾向の変化とその具体的内容について報告があった。
- ・グローバルコンピテンシーという概念について紹介があった。

6 協議

(1) 次年度連合大会、パブリックセッション提案について

Future Earthの活動や地理教育とのリンクも含めて、国民の地球科学リテラシーとはどのようなものかをテーマにしたセッションとすることを決定した。タイトルやスコープ等については、主担当の宮嶋委員からMLに草案を出し、議論を行ってからセッション提案することを確認した。

(2) 地学基礎の総括について(連合会員アンケート)

地学基礎の実施状況や課題について、広く情報や意見を集めるべく、Web上でのアンケート調査を実施することが承認された。10/24に開かれる理事会で許可を受けるべく、小林委員が担当になって、アンケート調査の目的等の文書、アンケート内容案について準備することを確認した。

(3) 地学の科目名に関する連合会員アンケート

科目名を変更することによって、地学教育の普及に関し、良い影響が必ずしもあるとは限らないことから、今回はアンケート調査を実施しないことを確認した。

(4) 今後の各WGの検討方向性について

ABC案について、教えるべき内容について共通理解を図るべきであるということ、項目ではなくどんなストーリーとして教えるか、これを教えないとこれができなくて困る、という観点で検討を加えることが必要であることを確認した。

7 次回小委員会

11月から12月上旬までの間について、メールで日程調整を行うことを確認した。